

令和8年度 第1回学校運営協議会（兼コンプライアンス委員会）報告

1 日時 令和8年6月18日（木） 午前9時30分 11時30分

2 出席者

(1) 委員

- 浜松学院大学特任教授 山田 浩昭
- 江之島町自治会長 鈴木 定明
- 特定非営利法人くらしえん・しごとえん代表理事 鈴木 修
- ふくふく所属臨床心理士 高木 紀子
- 株式会社京丸園代表 鈴木 厚志
- 浜松市南障がい者相談支援センター相談員 古澤 則仁 様
- PTA 会長 長坂 洋一

(2) 教職員

校長、副校長、部主事 教務課長

本日の目的：委員の方に、江之島分校のことを知っていただく。

1 開式

2 校長より

- ・15人の生徒が集まり、江之島分校がスタートした。Instagramを中心に発信を行っているが、いろんな学びを積極的に取り入れていて嬉しく思っている。
- ・本日は学校のことを知っていただく機会としたい。江之島分校の近隣に4つの学校が集まっている。以前はあまり交流がなかったが、最近交流が始まり、地域を良くしていこうという活動が始まった。去年は、近隣の事業所等も参加していただいて落ち葉拾いをし、やって良かったと感じる活動ができた。もっとやっていきたい。江之島分校がリーダーとなってほしいと願っている。
- ・江之島分校の売りの一つは、農耕班の水耕栽培。先日の文化祭では青梗菜が6分で完売した。東横インにも卸している。今後はしいたけ栽培にも取り組む予定。

3 委員の委嘱

4 自己紹介

山田浩昭様

- ・浜松学院大学。特別支援関係が主。
- ・初めてできた江之島分校を見られるので、今日は楽しみにしてきた。

鈴木定明様

- ・この4月から江之島町自治会長になった。前の自治会長は9年務め、活発に、自治会としてできることをやっていた。この江之島には、せっかく学校が4校、他に公的な施設も多いので、何かいいものができ、生徒の笑顔が出れば嬉しい。

鈴木修様

- ・富士東分校が立ち上がったときに学校運営協議会に携わらせていただいた。

高木紀子様

- ・「あくしす」という法人をやっていて、重度知的障害の利用者がいる。スクールカウンセラーとしても関わりがあり、健康な心の状態で社会に出ていく支援をしている。

鈴木厚志様

- ・農園を経営し、支援学校の生徒の就職先として来てもらっている。田方農業や城北分校の立ち上げに関わってきた。
- ・就職を考える生徒を受け入れる側としてやりとりができれば。

古澤則仁様

- ・南行政センターに事務所があり、地域の方の相談を受けている。相談だけでなく、地域づくりにも取り組んできて、旧南区の地区づくりに取り組んでいる。今年度は遠州浜がテーマで、地域の方たちと盛り上げる、ということに取り組んでいる。防災という話が必ず出てくるが、昼間は仕事で不在の住民が多く、若い人の力が必ず必要である。

長坂洋一様

- ・PTA会長。

園田校長

- ・校長として3年目。困難な課題にぶつかることがあるが、初動が大事だと感じる。学び、成長に繋げていきたい。委員の方と一緒に考えていきたい。

山本副校長

- ・職員も第1期生。分校の文化を作っていきたい。

小倉部主事

- ・いろいろな面で支援をお願いしたい。

5 校内参観

6 会長・副会長の選出

- ・会長、山田様へお願い。
- ・副会長、地域との連携を進めたいので、鈴木様へお願い。

7 学校経営計画・不祥事根絶取組計画の説明（副校長より）

- ・教育目標、主な取り組み、不祥事根絶への取り組みの説明

《意見・質問等》

鈴木定明様

- ・みんな目が輝いていた。男の子もミシンをやっていたが、自分の才能、何に向いているか、今後気が付くと思う。いい経験ができていると思う。

鈴木修様

- ・彼らのこれからのことを考えていくと、教職員がこれからのことをどれだけイメージできているかが重要。実際、現場はトラブルが次から次へと出てきて、先生たちがイメージしているものの斜め上をいくことがある。2年、3年経った時に社会に出ていくときに切り替えられるよう、先生方がどれだけイメージを持っていけるか、イメージを持った上で生徒たちにどれだけ伝えていけるかが大切。

高木紀子様

- ・江之島分校は生徒個々が整った状態で学校を選んできていて、現在はとても安定している。そういう意味では今年度は作りやすく、大きく崩れることはないと感じる。立ち上げメンバーとして、いいメンバーでスタートしている。
- ・先生方が子どもたちの人権を守ることにについて、どのような取り組みがあるか。
→（副校長）8月の教職員向けの人権研修や人権チェックなどを実施する予定。
TTで行っているので、ちょっと気になることがあったら注意できるような雰囲気にしていきたい。

鈴木厚志様

- ・すごくいい雰囲気だった。駐輪場を含め、いい場所を使わせていただいている。
- ・江之島高校は普通高校なので、意識的に結び付けていく必要があると感じるが、高校とはどのように交わっていくか。
→（副校長）対面式や避難訓練や文化祭などで自然な交流ができた。芸術科があるので、そこで何か交われたらよいかと思っている。
- ・先生方の不祥事への取り組みがすごい。
- ・企業側からすると、企業が学校を気軽に見学できる機会があるとよい。貴重品の管理など、参考になることがある。先生方にも現場を見てもらい、スライドするときにギャップがないとよい。

古澤則仁様

- ・今はのんびりしているが、生徒が、自分たちが3年生になって3学年そろったときのイメージを生徒たちにもってもらっておくことが大事。
- ・お金の動きの学習に取り組んでほしい。スマホで支払いをしているとお金が動いている感覚がなく、せっかく就職しても全部負債になってしまったり、人間トラブルになってしまったりすることがある。我々のところに相談に来るのが、お金のことが多い。詐欺的な話も人権と同時に学ぶことで自分を守れるようにするとよい。

長坂洋一様

- ・保護者の参観会となったが、楽しそうに過ごしていてほっとした。
- ・部活動や畑の水やりについて、基本的に夏休みに登校することはあるか。長期休暇

に何もやらず、すぐに大会出場になってしまわないように考えていただければ。

→（副校長）検討させてください。

山田浩昭様

- ・生徒たちはあいさつもできているし、意欲的にやっていると感じた。
- ・1年目にきちんと固めてしまえば2年目が楽になる。固めるためには、「地域との連携」「防災」は外せない。清掃活動を含めたボランティア活動等、双方向で取り組んでいけるとよい。「高校との交流」も外せない。城北分校の例です。城北工業高校から大学に進学してきた大学生が、高校生も分校生も一緒にいることが普通で当たり前のことだと思っていたと語っていた。こういう感覚が大事だと思う。
- ・経営計画について、大きな意見はないのでこのまま進めていき、さらにこの先については具体的に練っていったほしい。

8 江之島分校の紹介（部主事）

9 夢を語る会について（副校長）

- ・第1回の報告
- ・第2回で、やれそうなことを話し合う予定。

10 閉式